

総本山醍醐寺・南山進流声明一流伝授について

潮 弘憲

昨年、総本山醍醐寺さまより、声明一流伝授の要請があった。そこで、自らの修学として、この度、浅学非才をかえりみず、お引き受けさせていただくことにしたのである。

かつて、総本山善通寺、総本山仁和寺、種智院大学において、声明の一流を伝授させていただいた。

当時、まだ年齢も今よりは若く健康面でも自信があった。その頃から比べると、現在は健康ではあるが高齢となり、はたして無事に成満できるであろうかとの、若干の不安も感じているのである。

健康については、世界保健機関（WHO）の定義は「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあることをいいます」とある。たとえ病気があっても、身体が弱くても、高齢であっても満ち足りた状態にあることが健康であるというのである。

くわえて、私は伝授の道場は曼荼羅の世界（悟りの世界）であり、能礼所礼であると思っている。能礼所礼とは、『仏教語大辞典』では礼拝する者と礼拝される者すなわち衆生と仏とされているが、密教では衆生も無相の本尊であると説かれる。礼拝する者も礼拝される者も仏である。いわゆる本尊同士の相互供養・相互礼拝である。深秘には、能化も所化も、ともに清浄な菩提心を具えた無相の本尊であると礼拝しあうのである。つぎに、浅略といっても深いが、能化である大阿も所化である受者も、ともにこの伝授により、八祖相承の声明を修学させていただき、実にありがたいと、おたがいに感謝の誠をささげ礼拝する。これが能礼所礼である。

したがって、私も高齢となっているが、妙曲にはまだまだほど遠いので、死ぬまで精進しなければと自らを戒め、つねに謙虚さをもって、受者の方々に尊崇の誠をささげながら、自分のできる範囲内でみちたりた状態で声明一流の伝授に努力精進したいと、決意を新たにしている次第である。

現在の真言宗の声明について

久安年中（1145～1151）、『声決書』（続真全30・257頁）によると、覚性法親王（仁和寺第五世、鳥羽天皇第五皇子、相応院流の巨匠）は諸流の声明が乱立しているのに心をいためられ、仁和寺大聖院に諸流声明の碩徳15人を集め、73日間声明を校合し、本相応院流、新相応院流、醍醐流、進流（当時は大和・中川寺が宗家で大進上人流の略称）の四派にまとめられた。

現在、醍醐流・相応院流の声明は絶えてしまっており、真言宗古義の全ての各派では、南山進流（鎌倉中期に宗家が中川寺より高野山に移る）により伝授されているのである。

ところが、醍醐寺・仁和寺で今も唱えられている声明は醍醐流・相応院流の声明であると主張されている一部の方々もいる。それは「唱礼」の句頭等の異なりのみをもって、醍醐流・相応院流の声明と誤解されているからだと思われる。しかし、「声明集」も、醍醐流は次第型の『声明集』、仁和寺相応院流は卷子本の『法則集』、南山進流は『魚山薑芥集』であったが、現在では全ての真言宗各派は南山進流の宮野宥智編『声明類聚』（昭和改版『魚山薑芥集』ともいわれる）を教則本としている。くわえて、博士もそれぞれ大きく異なっている。醍醐流『声明集』・相応院流『法則集』の博士を一見しただけで、いま唱えられている声明は醍醐流・相応院流の声明の博士ではなく、南山進流の博士による声明であるということに気付く筈である。

ちなみに、下記の秘讃に真源「醍醐進流定十六大菩薩漢讃」（1737年）が収録されている。跋文等によると、南山進流に定十六大菩薩の梵讃・漢讃ともに伝わっていたのであるが、博士が混交し、脱字があり、全文をみることが出来なかった。そこで、醍醐進流（醍醐寺に伝わる進流）として伝わる定十六大菩薩漢讃の醍醐流の博士を南山進流の五音博士に変えて刊行したとされている。

いずれにしても、現在、真言宗の声明は新義真言宗の智山派・豊山派の声明を除くと、古義真言宗各派の全ての声明は南山進流により唱えられているのである。

声明一流伝授目録

本来、進流声明の伝授次第は魚山薑芥集・諸伽陀・諸表白・諸法則・諸講式・秘讃・乞戒声明・大阿闍梨声明の次第である。しかし、法会毎の声明とする方が、より身近に修学できるので、今回の総本山醍醐寺一流伝授も、下記の如く伝授させていただきたい。

そこで、声明実唱の伝授であるが、本来「声明伝授師資作法」により、第1回目は師が唱え、第2回目は師資同音に唱え、第3回目は資が独唱すべきであるが、時間の関係で、第3回目の資の独唱は省略させていただくにした。

なお、伝授は3年間とさせていただき、付加分の1 布薩、2 引導作法、3 心経会、4 金堂舍利会は略させていただく。そして、伝授成満の後、時間と機会があれば、これら略された声明を伝授させていただきたいと考えている。ただし、3年間の伝授の中、時間に余裕ができれば付加分の一部を伝授することとする。

第1会～第4会

声明の歴史と楽理

声明について、声明の歴史、声明の伝授次第と伝授作法、南山進流の声明本

南山進流声明の楽理

理趣三昧

理趣三昧について、理趣経法の本尊と次第、理趣三昧法則、理趣三昧の法会次第

理趣三昧の声明（出典、調子、概説）

云何唄、散華上段・中段・下段、対揚、五悔、普供養三力、祈願礼仏、四智梵語、心略梵語、不動讃、理趣経中曲、四智漢語、心略漢語、仏讃、表白、神分、過去帳

第5会

五日三時法 以下の法会の声明の中、すでに伝授した声明は割愛する

五日三時法について、五日三時法の本尊、五日三時法の法会次第、五日三時法の後讃の讃規

五日三時法の声明（出典、調子、概説）

礼文、東方讃、吉慶漢語一・二・三・四・五、吉慶梵語一・二・三、西方讃、四波羅密、文殊讃、毘沙門讃、阿弥陀讃、孔雀経讃

第6会

土砂加持

土砂加持について、土砂加持の本尊、土砂加持の法会次第、土砂加持法則

土砂加持の声明（出典、調子、概説）

総礼伽陀、九方便、不動漢語、心略漢語秘讃、駄都讃、光明真言秘讃、光明真言、舍利礼、光明真言伽陀、別廻向伽陀、総廻向伽陀、称名礼、表白、神分、過去帳

第7会～第8会

常楽会

常楽会について、常楽会の法会次第、常楽会法則

常楽会の声明（出典、調子、概説）

勧請、総礼伽陀、称名礼、北方讃、涅槃講祭文、別礼伽陀、如来唄、散華（釈迦）、梵音、錫杖、仏名、涅槃講讃嘆伽陀一・二・三・四・五、涅槃講和讃、釈迦念仏、合殺、哭仏讃、羅漢講祭文、羅漢講別礼伽陀、羅漢講讃、嘆伽陀一・二・三・四・五、羅漢講和讃、遺跡講祭文、遺跡講別礼伽陀、御前頌、遺跡講讃嘆伽陀一・二・三・四・五、遺跡講和讃、舍利講祭文、舍利講別礼伽陀、舍利講讃嘆伽陀一・二・三・四・五、舍利講和讃、舍利讃嘆、奉送、廻向伽陀、称名礼

第9会

御影供

御影供について、御影供の法会次第、御影供法則

御影供の声明（出典、調子、概説）

御影供祭文、表白、神分、仏名、教化、三礼、合殺三十七遍

大般若会

大般若会について、大般若会の本尊、大般若会法則

大般若会の声明（出典、調子、概説）

- 散華中段、対揚、表白、発願、四弘、仏名、廻向、結願事由、神分、経釈、補欠分
- 仏生会
 仏生会について、仏生会の法会次第、仏生会法則
 仏生会の声明（出典、調子、概説）
 祭文、灌沐頌、別礼伽陀、讃嘆伽陀一・二・三・四・五
- 第10会
 弘法大師誕生会
 弘法大師誕生会について、弘法大師誕生会の法会次第、弘法大師誕生会法則
 弘法大師誕生会の声明（出典、調子、概説）
 祭文、灌沐頌、別礼伽陀、讃嘆伽陀一・二・三
- 奥院通夜行道
 奥院通夜行道について、奥院通夜行道の法会次第、奥院通夜行道法則
 奥院通夜行道の声明（出典、調子、概説）
 九條錫杖
- 明神講
 明神講について、明神講の法会次第、明神講の法則
 明神講の声明（調子、概説）
 明神講祭文、総礼伽陀、別礼伽陀、讃嘆伽陀一・二・三・四・五
- 第11会
 仏名会
 仏名会について、仏名会の経典と本尊、仏名会の法会次第、仏名会法則
 仏名会の声明（出典、調子、概説）
 過去上経 総礼伽陀、礼仏頌、仏名、神分、後誓、勧請、揚題、仏名、初七仏
 伽陀、廻向伽陀
 現在中経 中七仏、伽陀、廻向伽陀
 未来下経 後七仏、伽陀、六種廻向・九條錫杖（切音錫杖）、仏名
- 第12会
 曼荼羅供
 曼荼羅供について、曼荼羅供の法会次第、曼荼羅供法則
 曼荼羅供の声明（調子、概説）
 庭讃、曼荼羅供誦経導師表白、発願、四弘、仏名、教化
- 伝法灌頂
 伝法灌頂について、伝法灌頂作法の次第、伝法灌頂の経軌・灌頂式
 伝法灌頂の声明（出典、調子、概説）
 対揚、九方便、五悔、伝法灌頂誦経導師表白、嘆徳
- 第13会
 『魚山薑芥集』の諸法則収載外の声明（出典、調子、概説）
 出家唄、薬師散華、阿弥陀散華、最勝講対揚、法華経対揚、孟蘭盆経対揚、仁王経
 対揚、陀羅尼、後夜偈、理趣経長音、礼懺文、南方讃
- 第14会～第17会
 講式
 講式について、講式の唱え方の約束
 講式（調子、概説）
 涅槃講式、羅漢講式、遺跡講式、舍利講式、弘法大師誕生会式、仏生講式、明神
 講式
- 第18会～第19会
 許可灌頂
 秘讃
 秘讃について、秘讃集
 秘讃集の声明（出典、調子、概説）
 天龍八部讃、毘沙門讃、孔雀経讃、如意輪・秘讃㊦㊧賛、㊨讃、吉漢第三段秘曲、
 吉慶漢語四段秘曲、吉慶梵語第三段秘曲、吉慶梵語三段秘曲、八字文殊賛大漢語、

藥師秘贊、愛染王言、丁重、不動漢、慈救咒、供養讚、光明真言、十一面、葬送言、最勝太子、緊那羅天、吉天、心略漢語、妙音天、後勸請、天龍八部、四天合讚、田水秘曲（秘曲は本来は合字）、田水言、田水門合贊、當流 **天龍八部** 讚、日天贊、月天贊・龜乱天供贊

南山進流 慧十六大菩薩梵讚（出典、調子、概説）

金剛薩埵、金剛王、金剛愛、金剛喜、金剛寶、金剛光、金剛幢、金剛笑、金剛法
金剛利、金剛因、金剛語、金剛業、金剛護、金剛牙、金剛拳

南山進流 慧十六大菩薩漢讚（出典、調子、概説）

金剛薩埵、金剛王、金剛愛、金剛喜、金剛寶、金剛光、金剛幢、金剛笑、金剛法
金剛利、金剛因、金剛語、金剛業、金剛護、金剛牙、金剛拳

醍醐進流 定十六大菩薩漢讚（出典、調子、概説）

四波羅蜜（金、寶、法、業）

内四供養菩薩（嬉、鬘、歌、舞）

外四供養菩薩（香、華、灯、塗）

四攝菩薩（鈎、索、鎖、鈴）

録外秘讚

録外秘讚について

録外秘讚の声明（出典、調子、概説）

吉慶梵語九段、弥勒漢語

第 2 0 会

乞戒阿闍梨声明

結縁灌頂について、結縁灌頂作法の次第、結縁灌頂の経軌・灌頂式、乞戒阿闍梨声明について

乞戒阿闍梨の声明（調子、概説）

礼仏頌、表白、神分、傳戒勸請頌、羯磨頌、仏名、教化、慚愧句、教化

第 2 1 会

大阿闍梨声明

大阿闍梨声明について

大阿闍梨の声明（調子、概説）

胎藏界禮九尊号、金剛界禮五仏号、第七請戒、仏名、教化

印信血脈授与

音曲阿闍梨位を受く

付加分

1、布薩

布薩の声明は進流声明外であるが要望により伝授させていただく

布薩について、布薩の本尊、布薩の式次第、布薩の儀則、**実習法会**

布薩の声明（調子、概説）

告白、上座教勅、露地偈、入堂偈、香水偈、香湯偈、浴籌偈、敬白、問願行、問監護、召集凡聖、告行籌、行籌、唱数、清浄偈、請説戒、請唄師、陳告、説戒師昇高座、散華偈、梵唄、献香偈、説戒、後唄、陳詞、四快偈、唱礼

2、引導作法 引導作法の声明は伝授目録にはないが要望により伝授させていただく

引導作法について、引導作法の次第

引導作法の声明（調子、概説）

表白、神分

3、心経会

心経会について、心経会の法会次第

心経会の声明（出典、調子、概説）

散華、対揚

4、金堂舍利会

金堂舍利会について、金堂舍利会の法会次第、金堂舍利会の講式と法則

金堂舍利会の声明（調子、概説）

別礼伽陀、讃嘆伽陀一・二・三・四・五